

## 第2回「新しい時代の公」を考えるラウンドテーブル ～みんなで作る地域社会に向けて～

三重県では、県総合計画『県民しあわせプラン』で示した「新しい時代の公」について、現在、調査委員会を設置し、実現に向けた課題や県の取組方向などについて検討しています。

この取組みの中で、県民の皆さんには、9月11日(土)に「新しい時代の公」のあり方や、多様な主体の役割等について御意見をいただきました。

今回は、これまで調査委員会で検討を行なってきた内容を受けて、「調査委員会が県へ提言する今後の取組方向、展開について(予定)」というテーマで、県民の皆さんと意見交換を行ないます。

そこで、意見交換に参加するラウンドテーブル討論者を募集します。たくさんの応募をお待ちしています。また、傍聴については、会場の都合により、50名までとしますが、申し込み不要ですので、多くの方の参加をお待ちしております。

- とき/平成17年1月23日(日) PM1:00~PM4:00
- ところ/アストホール(津市羽所町700番地アスト津4階 Tel.059-222-2525)
- 参加費/無料(交通費等は参加者負担)
- 募集人数/ラウンドテーブル討論者 10名(原則として、生活創造圏ごとに1名程度。応募者多数の場合は、抽選により決定します。)県内にお住まいの方、県内でお仕事、市民活動をされているなど、三重県に関係する方であれば、どなたでも応募できます。
- 申込方法/ラウンドテーブル討論者ご希望の方は、12月20日(月)(必着)までに、はがきまたはE-mailで、住所(または所属団体連絡先)・氏名・電話番号を記入し、下記まで。
- 申込・問い合わせ先/514-8570 津市広明町13番地 県総合企画局企画開発室「『新しい時代の公』ラウンドテーブル担当 Tel.059-224-2006 E-mail kikakuk@pref.mie.jp ホームページ <http://www.pref.mie.jp/shiawase/hp/>

◆発行◆  
514-0009  
津市羽所町700番地  
アスト津3階  
みえ市民活動ボランティアセンター  
Tel.059-222-5981  
Fax.059-222-5971  
E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
NPO室のホームページ  
<http://www1.mienpo.net/npot>  
三重県のホームページ  
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動にコースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバレス3階)/オールウェイズ(津センターバレス1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/【有】デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2)/鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市中央町1-8東和ビル内)/四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウィリアム テルス・アップル まちづくりセンター(上野市小玉町3045-1)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)/松阪大学(松阪市久保町1846)/松阪市市民活動センター(松阪市日野町788)/名張市市民活動センター(名張市夏見2812)/松阪まちづくりセンター「まちの駅松阪「守鹿」」(松阪市本町2217)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会

【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店

【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

## アスト de プロデューサー 13 脇田智恵

### 「ますます熱い!市民プロデューサー企画にご注目!!」

「三重の女性の欲張り人生」と題して、8月から3回シリーズで行ってきた企画が、大好評に終わりました。国際結婚をした女性、これまでの経験をいかし大学院で学び始めた女性、仕事と家庭の両立に奮闘している女性など、三重県内で活躍中の元気印の女性を囲み、お話を聞くというこの企画。参加者(ほとんど女性でしたが)は、ゲストに率直な質問を投げかけたり、日ごろの思いをぶつけたり…。

互いに情報交換をし交流を深めた参加者の1人は、「苦勞や悩みがあるのはみんな同じ。でも、地域にはこんなに素敵な生き方をしている女性がいるのね。私も仲間入りしなきゃ!」と。とびっきりの笑顔と一緒にこんな感想をいただくと、市民プロデューサー冥利に尽きます。

さて、今月からは、「マスコミが伝えない三重のおもしろうら話」と題して、5回シリーズの新企画を予定しています。一体どんな、「うら話」が飛び出すか…。

テーマやゲストの紹介は、そのつどこのニュースレターでも紹介していきますので、皆さん、どうぞ、お見逃しなく!!

●問い合わせ先/みえ市民活動ボランティアセンター 市民プロデューサー Tel.059-222-5995

## ボランティアコーディネーターってなんだ?? (18) 野村希代

このところずっと大きな災害が各地で起こったため、このコーナーも災害に関する内容が続いていますが、みなさまにご注意いただきたいことがあります。

それは、被災された方々への義援金の受付をしている団体の名を語って、またはそれとよく似た名前でも義援金募集を呼びかけている団体があるということです。今までにわかっているだけで、E-mailや手紙を直接送られたということがあったようですが、正式に募集している機関ではそのような方法での呼びかけは一切行っていません。不審なものは必ず口座番号や口座名義をご確認ください。善意を利用しようとする悪質な犯罪です。

災害発生後、数日のうちにボランティアセンターが立ち上がり、各地からボランティアが駆けつけるという流れが定着してきました。しかし、一方で、被災された方々の生活の場に見知らぬ人たちが入ってくることから、トラブルが起こることもあります。

ボランティアの受け入れ側も、ボランティアに行く側も、互いに気持ちよく過ごせるよう、その間を取り持つコーディネーターには、正確な情報を発信することや、受け入れ側への説明、ボランティアへのオリエンテーションなどの面で、ますます重要な役割が求められることをあらためて感じました。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。  
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

# みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ  
特定非営利活動法人(NPO法人)申請は8団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備え置いてあります。

## ●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
- (1)共栄しらとりの会(2)川合邦夫(3)四日市市西日野町4059番地14
- (1)SKY(2)内藤悦子(3)亀山市川崎町1583番地
- (1)まごころかいご おふくろ(2)上嶋登美郎(3)上野市土橋61番地
- (1)地域開発研究機構(2)児玉克哉(3)津市栗真町屋町1577番地
- (1)楠スポーツクラブ(2)岡田武男(3)三重郡楠町大字北五味塚1215番地1
- (1)知恵の輪(2)山本利雄(3)名張市桔梗が丘3番町1街区1番地陸ビル201号
- (1)希望の園(2)村林真哉(3)松阪市殿町1563番地松阪市障害福祉センター内
- (1)21健康生きがいネットワーク(2)瀬古邦雄(3)津市大門11番18号
- (平成16年10月11日~平成16年11月7日申請分)

## ●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人 国際知的所有権監理保護機構三重(16年10月12日)
- 特定非営利活動法人 日本情報出版協会(16年10月25日)
- 特定非営利活動法人 ビース オブ・大国(16年10月14日)
- (平成16年10月11日~平成16年11月7日届出分)

## 鍵付きロッカー、メールボックス利用の 申込受付のお知らせ

現在、みえ市民活動ボランティアセンター内にある、鍵付きロッカー、メールボックスを多くの団体の方にご利用いただいております。この利用期限が近づいてまいりましたので、来年度の受付をいたします。活動のお役に立ててください。

【現在、鍵付きロッカー、メールボックスをご利用のみなさまへ】  
更新の時期が近づいてまいりました。来年も利用を希望される方は、下記期間内にもう一度、申込用紙を提出してください。来年の利用を希望されない方、抽選で漏れた方は、12月20日(月)までに、ロッカー、メールボックス内の物品をお持ち帰りください。

### 【新規に利用を申し込まれる方へ】

所定の用紙に必要事項をご記入のうえ、みえ市民活動ボランティアセンターまでご提出ください。

- 受付期間/平成16年12月1日(水)~12月20日(月)必着
- 利用期間/平成17年1月4日~12月28日
- その他/応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。申込用紙はみえ市民活動ボランティアセンターにありますので受付に声をかけてください。ご希望の方には郵送、FAXでもお送りできますが、郵送料はご負担くださるようお願いいたします。受付期間を過ぎた後でも空きがありましたら、随時、利用申し込みを受け付けております。その際は先着順となります。利用者が決定次第、それぞれロッカー、メールボックスの番号とともにご連絡いたします。ロッカー、メールボックスの利用につきましては無料ですが、鍵の破損など明らかに利用者に責任がある場合は原状復帰をお願いいたします。
- 申込・問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971 E-mail center@mienpo.net ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

# イベントスケジュール

## ちょっと早いクリスマス

- とき/12月2日(木)AM10:00~PM2:00(雨天開催)
- ところ/津市東丸の内リバーサイドFK(1階)
- 内容/子供服中心のガレージセール(リサイクルブース)と手作り品の展示販売(ZAKKAブース)のONE DAY SHOP。雑貨はトールペイントやパッチワーク、ドール、カットクロスやキットなど…毎回完売の焼菓子も並びます。他子供向けイベントもあります。ベビーカーで買い物できるように通路を広くしたり工夫して、子連れの母親たちがリフレッシュできる空間を目指していますので雑貨を見た

り、お茶したりのんびり過ごしてください。主催は津、久居在住の30代女性4人組「Honeyドロップス」です。

●問い合わせ先/Honeyドロップス(担当:平岡) Tel.059-237-5377 ホームページ <http://honeydrops.booo.jp/>

## 内閣府、国際交流事業

### 三重県派遣青年の帰国報告会

- とき/平成16年12月4日(土)PM2:00~PM4:00
- ところ/アスト津3階オープンスペース
- 参加費/無料(申込不要) ●主催/IYEO三重
- 内容/内閣府の主催による国際交流事業のうち、2004年に航空機により中国に派遣された青年と東南アジア青年の船に参加した青年の帰国報告会です。参加報告を写真や音楽を用いて楽しく行います。世界の民族衣装や小物の展示販売等もあるので国際交流に興味のある人はぜひぜひ見に来てください。今は特になんという方でも楽しく興味深く時間を過ごしていただければと思います。

### 川づくり会議みえ第15回勉強会 安濃川観察会

- とき/平成16年12月5日(日)PM1:00~PM5:00
- ところ/津駅西口ロータリー集合~車に分乗して移動
- 参加費/無料
- 内容/三重県の中勢地域を流れる安濃川の歴史、自然の状況、地域との関わりや、河川整備計画の状況などを、現地観察や意見交換会を通して学びます。
- 申込・問い合わせ先/川づくり会議みえ(事務局:久世憲志) Tel.090-5637-0727 E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp
- 協力/あいう川ルネッサンス、日本野鳥の会三重県支部、三重県河川室他

### ハートバランス研究所無料勉強会 今年をふりかえって~2004年総決算~

- とき/平成16年12月8日(水)PM7:00~PM8:00
- ところ/名張産業振興センターアスピア(名張市南町822-2)
- 内容/ハートバランス研究所では、毎月 第2水曜日『無料勉強会』・第4水曜日『政治経済講座(無料)』を開催しています。第11回『無料勉強会』は今年最後の勉強会です。第1回~第10回をふりかえって~そして、今年をふりかえっていろいろ考えたいものです。なお、12月22日の『政治経済講座』は年末のため、お休みです。
- 申込・問い合わせ先/518-0713 名張市平尾3068-12 KAJITA.BLDG.2階 特定非営利活動法人ハートバランス研究所 Tel.0595-62-1717 Fax.0595-62-1719 E-mail master@heartbalance.jp ホームページ <http://www.heartbalance.jp>

### ロマン座シネマ倶楽部 第4回上映会 『ごめん』

- とき/平成16年12月11日(土)PM7:30  
12日(日)AM10:30、PM1:00、PM3:30
- ところ/ロマン座シネマ倶楽部特設ミニシアター(尾鷲市一番街「オアシス栄」)
- 参加費/1000円 ●募集人数/各回定員40人(入場先着順)
- 内容/ロマン座シネマ倶楽部は、18年前に閉館し建物の残された映画館「ロマン座」の再生を目指している団体です。現在は、商店街の空き店舗を利用した手作りのミニシアターで、懐かしい映画や良質の映画の自主上映会を開き、尾鷲がいろんな映画を楽しめる町になるよう活動しています。今回上映する作品は『ごめん』。性のめざめと年上の少女との初恋の間で、とまどい、キリキリまいる少年・恋の日々を、面白くも真面目に描いた物語。ナニワの「小さな恋のメロディ」です。
- 申込・問い合わせ先/ロマン座シネマ倶楽部(事務局:東川庸介) Tel.05974-7-1468 携帯Tel.090-1625-4813

### ライトミュージックフェスティバル(第16回LMF)

- とき/平成16年12月18日(土)開場PM5:00  
PM5:30~PM9:00(予定)
- ところ/美里村文化センター(みさとの丘ホール)
- 参加費/前売1000円、当日1300円(全席自由)
- 内容/みえ県民文化祭の軽音楽部門として、平成元年度から毎年

1回、県内各地で開催を続けている「伝統と実績」のあるフェスティバル。クリスマスムードたっぷりに飾られた会場で、応募多数の中から厳選した優秀アマチュアバンド6団体と、2002年11月にCDデビューした名張市出身の実力派ミュージシャン「aoi(アオイ)」、四日市市出身で、FM三重やCBCラジオのパーソナリティとしても活躍中の「広瀬隆」が率い、今年、結成25周年のベテランロックバンド「めるへん堂」のダブルゲストが白熱のライブを展開します。チケットは三重県軽音楽振興協議会(K-Net)事務局、美里村文化センター・美里村教育委員会生涯学習課のほか、出演バンド・LMF運営委員会・県内有名楽器店・ライブハウスなどで好評発売中。

●問い合わせ先／三重県軽音楽振興協議会(K-Net)  
Tel.0598-42-6656 美里村文化センターTel.059-279-8121 美里村教育委員会社会教育課 Tel.059-279-8122

## 名張子ともの本の連絡会交流会

### 『平和を祈るおはなし会』

●とき／平成16年12月18日(土) PM2:00~PM4:00

●ところ／名張市立図書館2階視聴覚室

●内容／赤目保育所の保育士の方々によるパソコンを使ったおはなし会です。あなたの「平和」を願い、祈る絵本や本を持ちより、ご紹介ください。子どもも参加できます。声が響きますので、階段は静かに上がってください。

●問い合わせ先／さとうみどり E-mail ccsato@nava21.ne.jp

## 「三重日独協会」設立総会及び

### ドイツ・クリスマスパーティー

●とき／平成16年12月19日(日) PM2:00~PM5:00

●ところ／交流スペース(津市羽所町700アスト津3階)

●参加費／有料

●内容／ドイツ・スイス・オーストリアとの交流を目指して、「三重日独協会」を設立します。総会(30分程度)に引き続いて、ドイツ風のクリスマスパーティーを行います。

●申込・問い合わせ先／大河内 Tel.059-231-9125

Fax.059-227-0687 E-mail tokochi@human.mie-u.ac.jp

## DV対応指導者養成セミナー

●とき／平成17年1月15日、29日、2月12日、26日、3月12日(全5日、全て土) AM10:00~PM4:00

●ところ／みえ県民交流センターミーティングルーム3、4(津市羽所700アスト津3階)

●参加費／無料(託児も無料) ●募集人数／40人

●内容／DV(ドメスティック・バイオレンス)問題に関心を持ち、DV被害者の方への支援活動に取り組みたいと考えている方や、現在行っているNPO活動、ボランティア活動をDV被害者支援に役立てたいと考えている方で、三重県に在住または在勤・在学の方を対象に、DV被害者支援に関する基礎知識を習得し、地域において指導者としての役割を担っていただくことを目指します。講座には基本的に5日全てに参加してください。

●申込・問い合わせ先／健康福祉部子ども家庭室

Tel.059-224-2883 E-mail kodomok@pref.mie.jp

## 【四日市まんなか子ども劇場】

### お正月の遊びをしよう

●とき／平成17年1月15日(土)

AM10:30~PM12:30

●ところ／四日市まんなか子ども劇場(四日市市西町15-16)

●参加費／500円

●内容／カルタやこま回しをして遊びましょう。



## 親子の遊び場「キッズブレイルーム」

●とき／毎週月・火・木曜 AM10:30~PM12:30

●ところ／四日市まんなか子ども劇場隣みんなの居場所きりり

●参加費／家族300円

●内容／お母さんや子どもの友だちづくりに、先輩お母さんがサポートして過ごす親子の遊び場です。

●申込・問い合わせ先／四日市まんなか子ども劇場 Tel. & Fax.0593-51-6670(開局日:月~土曜(水曜除く) AM10:00~PM5:00) E-mail mannaka@m4.ctv-net.ne.jp

## お互いに学びあう防災講座

●とき・ところ・内容／

【第1回・桑名市の防災対策について(オープン講座)】

平成17年1月22日(土) PM2:00~PM4:00 メディアライヴ  
平成16年度より桑名市の地域防災計画が新しく改定され、東海・東南海地震を想定した防災対策となっています。私たちができる対策について学びましょう。

【第2回・地域防災訓練講座】

平成17年2月19日(土) PM2:00~PM4:00 総合福祉会館  
地域やコミュニティで防災意識を盛り上げるために、どのような方法で取り組めばいいか学びます。

【第3回・避難所体験講座】

平成17年3月5日(土) PM5:00~PM9:00 修徳小学校  
災害が起こった時、避難所になる地域の小学校の体育館。ここへ避難してきたという想定で、何から取り組めばいいかについて実際に体験しながら学びます。

【第4回・災害地視察】

平成17年3月26日(土) AM9:00~PM7:00 海山町  
平成16年9月、三重県各地に甚大な被害をもたらした台風21号。現地へ行き、当時の様子がどうであったかを学ぶとともに、その後の復興や住民、ボランティアがどのように動いたかを検証します。

※第1回は自由に参加できます。全回(4回)出席された方には修了証書を発行します。

●参加費／無料(ただし、第4回はバス代、昼食代の一部として参加費用2000円が必要)

●募集人数／50人(先着順)

●応募期間／平成16年12月1日(水)~27日(月)

●申込・問い合わせ先／桑名市常盤町51 総合福祉会館 桑名市ボランティアセンター(社会福祉法人桑名市社会福祉協議会)  
Tel.0594-22-8218 Fax.0594-23-5079

E-mail kshakyo@jasmin.ocn.ne.jp

●主催・問い合わせ先／桑名防災支援ネット(担当:水谷慎吾)

携帯Tel.090-6805-6589

## 地球環境セミナー~この惑星(ほし)に生まれて~

●とき／平成17年1月23日(日) 開場AM11:30

正午~PM5:00

●ところ／四日市市文化会館 第二ホール

●参加費／前売2000円、当日2500円

(学生の方200円引き・託児要予約)

●内容／私たち一人ひとりの小さな価値観の変化とそれともなう小さな選択、そして行動の変化が地球規模の大きな変化を起こしている時代…。そんな時代に最も大切なことは、「全ての存在はつながっている」ということを思い出すこと。そこからうまれる信頼と安心感です。全ての行動は、未来の世代、未来の地球、未来の宇宙につながっています。このことに気づき、謙虚さと共に、勇気と希望をもち、心は非対立で、行動と選択を変えていく人にあなたもなりません。あなたが変われば世界が変わります!

【第1部】映画『地球交響曲 第五番』上映 龍村仁監督

【第2部】講演『非対立に生きる』

NPO法人ネットワーク『地球村』代表 高木善之

●申込方法／郵便振込みにて、通信欄に「1/23参加費」とチケット枚数を記入。口座番号 12200-20011051

口座名 NPO法人ネットワーク『地球村』桑名

●申込・問い合わせ先／こころコアハウス湯の山 ネットワーク『地球村』桑名(担当:ヌクイ)

Tel.0593-92-2205 携帯Tel.090-9935-6183

E-mail makonori@lapis.plala.or.jp

## ネットワークのよびかけ

### 志摩ロードパーティーボランティアスタッフ募集

平成16年10月1日の志摩市誕生を記念し、「志摩市ロードパーティー」を開催します。風光明媚な志摩の地を走る「マラソン」、郷土色豊かなお祭りを体感できる「お祭り広場」、そして志摩の味覚を楽しめる「にぎわかし市場」の開催等、志摩市の魅力が感じられるイベントです。このイベントにおいて、マラソンの給水所での給水係やお祭り広場・にぎわかし市場でのゴミ分別ナビゲーターを行うボランティアスタッフを募集します。謝礼や交通費はありませんが、食事は用意します。募集人数は50人です。

### 【志摩市ロードパーティー】

●とき／平成17年1月10日(祝・月)AM9:00~PM4:00  
 ●ところ／志摩市大王町ともやま公園内とその周辺  
 ●問い合わせ先／517-0501 志摩市阿児町鶴方1377-5  
 志摩市ロードパーティー大会事務局ボランティア受付係  
 Tel.0599-43-6117 Fax.0599-43-4449  
 ホームページ <http://www.shimarp.jp>

●ところ／四日市ドーム(四日市市大字羽津甲5169)  
 ●入場料／前売300円、当日500円(小学生以下無料)  
 ●内容／ブース数750というスケールの大きなフリマです。会場内  
 ステージではウルトラビンゴゲームも開催。  
 ●主催・問い合わせ先／510-0071 四日市市西浦1-2-17  
 特定非営利活動法人MFA Tel.0593-55-2939  
 Fax.0593-55-2959

## ~第二回 三重県民環境活動発表会~ エコリンピック2005

三重県内には、さまざまな環境問題に対して懸命に取り組んでいる団体が多数あります。三重県環境県民会議では、そうした団体の活動をより多くの人々に知っていただき、多くの人に新たに参加していただく機会をつくりだし、日頃の活動をたたえ、将来性のある団体を応援する目的で「エコリンピックみえ2005」を開催します。

- 応募締切／平成17年1月17日(月)消印有効
- 参加団体応募資格／県内に団体住所地があり、活動する地域が県内にあること
- ・16年度の環境県民活動推進事業の支援対象団体でないこと
- ・16年度に三重県から助成金などの経済的支援を受けていないこと
- ・昨年度の「エコリンピックみえ2004」の支援対象団体であっても参加はできます。ただし、不適正な実績報告をされた場合には支援を取り消されます。

●申込方法／第二回三重県民環境活動発表会「エコリンピックみえ2005」参加応募様式を事務局あてに提出。応募様式はホームページからダウンロードするか、最寄りの市民活動センターもしくは県民局(生活環境森林部)、あるいは下記までお問い合わせください。

### 【エコリンピック2005】

●とき／平成17年2月20日(日)AM10:00~PM5:00  
 ●ところ／津地方県民局本館6階大会議室  
 ●問い合わせ先／510-0304 安芸郡河芸町大字上野3258番地(財)三重県環境保全事業団内 三重県環境県民会議事務局(担当:坂野、高橋) Tel.059-245-7512 Fax.059-245-7517  
 E-mail [kenmin@mec.or.jp](mailto:kenmin@mec.or.jp)  
 ホームページ <http://www.mec.or.jp/kenmin>

## 明和町市民活動サポートセンター ホームページができました!

<http://www.nextftp.com/meiwa-sc/>

その力、共に生かそう!みんなでお支え合おう、すみよいまちづくり  
 ●問い合わせ先／多気郡明和町馬之上944-5 明和町市民活動サポートセンター Tel.0596-52-7129 Fax.0596-52-7739  
 E-mail [support-c@town.meiwa.mie.jp](mailto:support-c@town.meiwa.mie.jp)



## ガーデンカップテニス大会 参加者募集!!

県営鈴鹿スポーツガーデンでは、第7回ガーデンカップテニス大会参加者を募集しています。参加資格は三重県在住の方あるいは三重県テニス協会に加盟する団体に個人登録されている方です。

- とき／平成17年2月19日(土)・20日(日)26日(土)・27日(日)
- ところ／三重県営鈴鹿スポーツガーデンテニスコート
- 参加費／各種目2000円
- 種目／一般の部(男女シングルス・ダブルス)、ベテランの部(45歳以上の部…男女シングルス・ダブルス、55歳以上の部…男女シングルス・ダブルス)
- 申込方法／所定の用紙に必要事項をご記入のうえ、参加料を銀行振込でお支払いください。用紙はホームページからダウンロード。
- 申込締切／平成17年1月19日(水)PM5:00必着
- 申込・問い合わせ先／510-0261 鈴鹿市御園町1669番地(財)三重県体育協会 県営鈴鹿スポーツガーデン 水泳場 Tel.0593-72-2250 Fax.0593-72-2260 庭球場 Tel.0593-72-2285 Fax.0593-72-8011  
 ホームページ <http://www.garden.suzuka.mie.jp>

## ろうきん桑名支店40周年記念行事 「チャリティーフリーマーケット」出店者募集

会員組織と一般住民を交えて参加できるフリーマーケットをろうきん桑名支店の40周年記念行事として開催します。福祉金融機関として、地域福祉活動へのチャリティー方式として実施するため、ブース代1000円は三重県社会福祉協議会へ募金します。

- 応募締切／平成16年12月31日(金)
- とき／平成17年1月30日(日)AM10:00~PM3:00
- ところ／精義小学校体育館
- 募集数／50ブース(定員になり次第、締切)
- 申込・問い合わせ先／東海労働金庫桑名支店  
 Tel.0120-191-503

# 助成金 ニュース

## 平成17年度 JATA環境基金 地球にやさしい市民活動支援助成

- 受付締切／平成16年12月20日(月)消印有効
- 助成の対象となる団体／下記要件を全て満たす団体。1、市民主導のボランティア団体。NPO法人格の有無は問いません。2、活動場所が国内外の観光地(その地域の自然や文化遺産の観光を主目的として、多くの旅行者が訪問する地域)内にあること。3、日本国内に事務所を有していること。4、海外活動に対する助成を申請する団体の場合、NPO法人格を有していること。
- 助成の対象となる活動／1、自然や文化遺産を保護する事業。2、環境に配慮した観光の発展に寄与する事業。
- 対象事業の期間／平成17年4月1日~平成18年3月31日
- 助成の内容／原則、1団体につき上限100万円。
- 応募方法／応募要項、助成申請費などは下記のホームページからダウンロード。応募は郵送にて。
- 問い合わせ先／社団法人日本旅行業協会業務部業務第2グループ  
 Tel.03-3592-1275 Fax.03-3592-1268 E-mail [egyomu2@jata-net.or.jp](mailto:egyomu2@jata-net.or.jp) ホームページ <http://www.jata-net.or.jp>

## (財)国際開発救援財団 平成17年度民間海外援助活動助成

- 受付期間／平成16年12月1日(水)~平成17年1月21日(金)PM5:00必着
- 助成の対象となる団体／次のすべての要件を満たすもの。1、民間の公益あるいは非営利の団体で、法人格を有している団体、または公的機関から資金の提供を受けたことがある団体。2、開発途上国における援助事業を主たる事業目的としている。3、日本国内に住所または事務所を置き、責任の所在が明確である。4、対象事業を推進するうえで、十分な管理能力を有すると認められる。5、政治、宗教活動を主たる目的とする団体ではない。  
 ※NPO法人は公的機関から資金の提供を受けた旨を証明できること。
- 助成の対象となる活動／1、農漁村開発 2、教育・人材育成 3、保健衛生・医療 4、生活環境改善 5、地域産業振興 6、社会的弱者保護 7、上記のいずれかに係わる事業評価または啓発。なお、これらすべての事業分野の援助活動において、人々がエンパワメントされるように事業計画の中で細かな配慮がなされていることを重視します。
- 対象事業の期間／平成17年4月1日~平成18年3月31日
- 助成の額／原則として事業総経費の80%以内とし、最高額は500万円。
- 応募方法／募集要領は下記のホームページからダウンロード。郵送での請求などは下記までお問い合わせを。事務局では申請のための相談も受け付けています。
- 問い合わせ先／(財)国際開発救援財団(担当:小山、中島)  
 169-0073 東京都新宿区百人町1-17-8-2F  
 Tel.03-5386-0541 Fax.03-5386-0542

## フリーマーケット情報

### フリーマーケットin四日市ドームVol.16

●とき／平成16年12月12日(日)AM10:00~PM4:00

## 環境市民ボランティア活動助成制度

- 受付締切／【活動助成】【育成助成】平成17年2月28日(月)消印有効
- 【事業助成】【パートナーシップ助成】平成17年1月31日(月)消印有効
- 助成の対象となる活動(4助成共通)／1. 自然環境保護・保全活動。2. 森林保全活動。3. 里山保全活動。4. 生態系保護活動。5. 体験型環境学習活動。6. 地域清掃活動。7. 植花活動。8. 環境への負荷を軽減する生活をテーマにした活動。以上をテーマとした、実践活動、普及啓発活動、研究調査活動
- 【活動助成】
- 助成の対象となる団体／「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証されているNPO法人または任意の環境市民ボランティア団体。
- 対象事業の期間／平成17年3月1日より1年間。
- 助成の額／上限特になし。総額6000万円。
- 【育成助成】
- 助成の対象となる団体／「環境の保全を図る活動」を活動分野として、2006年2月28日迄にNPO法人取得または申請を行う予定の任意の環境市民ボランティア団体。
- 対象事業の期間／平成17年3月1日より原則3年間継続。
- 助成の額／1団体あたり、1年間の上限50万円。
- 【事業助成】
- 助成の対象となる団体／「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証されているNPO法人。
- 対象事業の期間／平成17年3月1日より2年または3年間継続。
- 助成の額／1団体あたり、1年間の上限200万円。
- 【パートナーシップ助成】
- 助成の対象となる団体／「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証されているかつ3年以上の活動実績があるNPO法人。
- 対象事業の期間／平成17年3月1日より原則3年間継続。
- 助成の額／1団体あたり、1年間の上限360万円。
- 応募方法／応募要項などはホームページからダウンロードするか、下記へFaxにて申込み。応募は郵送で。
- 問い合わせ先／セブン-イレブンみどりの基金事務局(担当:兵頭)  
102-8455 東京都千代田区二番町8-8 Tel.03-6238-3872  
Fax.03-3261-2513 E-mail oubo@7midori.org  
<http://www.7midori.org>

## (社)全日本冠婚葬祭互助協会第6回社会貢献基金

- 受付締切／平成17年2月28日(月)必着
- 助成の対象となる団体／非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループも対象。)又は大

学、研究機関(個人も可)で、今回募集する助成対象事業の趣旨に合致する事業を行おうとしている団体等。(個人資格による申請については、研究助成分野以外は対象外となります)

- 助成の対象となる活動／【(1)研究助成事業】  
テーマ「婚礼(結婚式)、葬儀(お葬式)など儀式文化の調査研究」。
- 【(2)高齢者福祉事業】  
心身の機能が低下した高齢者などを対象に、一般的な在宅福祉対策で対応困難な分野や従来の施策等では十分福祉の推進が図られていない分野での支援活動。または、ニースの高さ等地域の实情に照らし必要と認められる高齢者の自己実現・自己表現を図るための支援活動や福祉活動。
- 【(3)障害者福祉事業】  
重複障害、難病に起因する障害を持った障害児・者を対象に、一般的な在宅福祉対策では対応困難な分野や従来の諸施策等では十分福祉の推進が図られていない分野での支援活動。  
または、ニースの高さ等地域の实情に照らし必要と認められる障害児・者の自己表現・自己実現を図るための支援活動や福祉活動。
- 【(4)児童福祉事業】  
保護者等が死亡又は著しい後遺障害のため働けなくなった家庭の児童、引きこもり、不登校の児童を対象とした支援・慰問活動、その他児童の健全育成等に関するボランティア活動。
- 【(5)環境・文化財保全事業】  
日本国内における植林、野生生物保護、公害防止等の活動、地域の住民の参加を経て行う文化財保護活動、リサイクル活動その他地域住民にとって重要な意義を有する実践活動。
- 【(6)国際協力・交流事業】  
開発途上地域、紛争地、被災地における、医療活動、食料・物資援助、教材・学校建設など人材育成を目的とした国際協力・支援活動。国際交流を目的とする事業(懇親会・パーティー等は対象となりません)
- 助成の額／総額およそ1000万円。1件当たりの助成額上限は200万円。但し、研究助成事業においては、上限100万円。
- 応募方法／募集要項などはホームページよりダウンロードするか、下記まで問い合わせを。応募書類の提出は郵送にて。
- 問い合わせ先／(社)全日本冠婚葬祭互助協会事務局 社会貢献基金助成公募受付係 105-0001 東京都港区虎ノ門3-6-2 第2秋山ビル7階  
Tel.03-3433-4415 Fax.03-3435-0880  
E-mail webmaster@zengokyo.or.jp  
ホームページ <http://www.zengokyo.or.jp/index.html>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやアクションリサーブでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858  
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

各地の  
ネット  
ワークから

## 桑名市

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター  
511-0068 桑名市桑名市田町33 Tel.0594-27-2700  
E-mail miekita@mie-kita.gr.jp ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

### 納税と非営利公益活動(NPO法人の税制)をあらためて考えてみました

先日、特定非営利活動法人みえきた市民活動センターは、桑名駅前のビルの2階から石取祭り知られている春日神社のすぐ裏、寺町通り商店街の近くに引っ越しました。引っ越し記念ということでもありませんが、みえ市民活動ネットワークの代表の酒谷宜幸さん(公認会計士・税理士)に講師をお願いし、「非営利団体・NPO法人等の税務の勉強会」を行いました。せっかくならといくつかのNPO法人に声掛けしてみたところ、それぞれの団体で会計に明るい人たちが協力されていて、「うん、さすが法人」とちょっとうれしく思いました。

それでもよい機会だからとご参加いただいた方々7人で酒谷先生をお迎えし、事前に提出しておいたいくつかの質問をもとに勉強会が始まりました。特定非営利活動法人についての「所得税」「消費税」「簡易課税」「源泉徴収」「収入印紙」、「部門別会計」「義捐金の扱い」「現物寄付」「補助金・助成金への対応」、「日常の会計処理」などについてお話をうかがいました。

例の、「特定非営利活動法人本来の目的を達成するための非営利公益事業であっても、税務上の課税対象となる33業種の事業

では、まず税金を払って残りを活動資金にする」今の税制度は、特定非営利活動法人にとってはやはりかなり辛いところ。法人全体の収支に対して課税するような「みなし寄付の制度」がないと、経営規模の小さな非営利法人はやっていけないなあと感じました。また、多くの人たちが、国や地方自治体に納税する税額の一一定の割合までなら、自分が支援したい非営利公益活動に寄付することで、その寄付額分税金が安くなる「寄付金の税額控除制度」も必要と。

これらの税制措置について、内容は不十分ですが「認定NPO法人制度」があるのですけれど、門戸が狭く「絵に描いた餅」だなあとも思います。おりから、いま全国で「認定NPO法人制度」改正運動が行われています。(詳しくは、シーズ=市民活動を支える制度をつくる会 のホームページを見てみてくださいね。  
<http://www.npoweb.jp>)

今の日本で、地域で、市民のいろいろな公益活動が多様に継続的に広く行われるようにするためには、多くの人たちの理解の上に、非営利公益活動の事業資源をどう確保し、提供していくかという政策的な対応が必要と。そういうことに早く気が付いてアクションできる自治体が、これからの地域間競争を生き残っていくのだからなとも思いました。わがまち、わがふるさとではどうなのか、よく聞いてみたいところ。です。

いせ市民活動センター

■パーティいせ情報

■休館日/毎週水曜日 (その日が祝日に当たるときは、翌日以後の休日でない日)

■開館時間 午前9時から午後10時

# TVで、パソコンで、市民活動の情報を発信しよう

NPO  
って何?

活動  
情報

いせ市民活動  
センターから  
お知らせ



★ケーブルテレビで番組スタート  
いせ市民活動センターでは、市民活動の情報をケーブルテレビ (ITV) でお伝えすることになりました。パーティのイベント情報や登録されている市民団体の活動をご紹介します。ぜひ、ごらんください。

★パーティには「ITサポートセンター」が設置されています！  
月・火・木・金曜日の午前10時から午後5時まで、パソコンに関する相談、トラブルなどの無料相談を行っています。お気軽にご相談にきてください。 (16年度三重県事業)

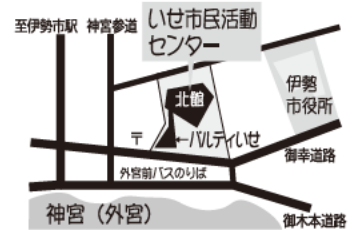
★市民活動支援「パソコン講習」開催中！好評です  
市民活動をしているとパソコンの必要性を感じる方が多いと思います。少人数でパソコンの基礎から学ぶ講習会はなかなかの人気。利用登録をいただいている団体・個人の方は、市民活動支援として受講料500円 (教材費を含む) で受講することができます。

★パーティで活動の情報発信しませんか？

ホームページもごらんください <http://skc.e-ise.net>

いせ市民活動センター  
パーティいせ

伊勢市岩淵1丁目2番29号  
TEL 0596-20-4385  
FAX 0596-20-4386  
Email/skc@e-ise.net



このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会が担当しています  
<http://www.po-npo-n.com>

W.T.Aまちづくりセンター情報 (No.30) / 〒518-0966 伊賀市上野町1丁目3045-1  
Tel: 0595-24-0612, 090-3302-0627  
Fax: 0595-22-0072 伝真: 中盛 3丁  
E-Mail: hag7-47.4.3@esweb.ne.jp

**ホニゴアカ...**

献血

12月19日 (日) 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222

12月19日 (日) 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222

**12月19日 (日) 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222**

12月19日 (日) 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222

**12月19日 (日) 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222**

12月19日 (日) 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222

**12月19日 (日) 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222**

12月19日 (日) 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222 伊賀市下郡 222

**12月14日 伊賀市上野町 4F 伊賀市上野町 4F 伊賀市上野町 4F 伊賀市上野町 4F**

12月14日 伊賀市上野町 4F 伊賀市上野町 4F 伊賀市上野町 4F 伊賀市上野町 4F

**12月14日 伊賀市上野町 4F 伊賀市上野町 4F 伊賀市上野町 4F 伊賀市上野町 4F**

12月14日 伊賀市上野町 4F 伊賀市上野町 4F 伊賀市上野町 4F 伊賀市上野町 4F

# ▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。自然と歴史をこよなく愛する渡邊幸宏さんから紹介いただいたのは小川宏樹さん。環境分野の活動団体を、様々なカタチで、後方から支援しています。

## 仕事として、環境分野の活動に関わる

……小川さんが環境分野の活動を始めたきっかけは？

私は三重大学の建築学科出身なのですが、卒業論文で公共施設の計画をテーマに研究することになり、99年の三重県環境学習情報センター設立時に実施された、総合環境学習ゾーン推進検討会に関わりました。

……具体的にはどのようなことを研究していたのですか？

当初はセンターの間取りや、講義室や実験室の設備などを考えていたのですが、ハード面を考えているうちに、実験や講義の内容というソフト面がわからないと、設計はできないと思い立ったのです。

……元々、環境や自然分野に興味があったのですか？

自然分野には特に興味はありませんでした。興味があったのはボランティア活動全般について。「なぜ人は、ボランティア活動をするのだろう？」という社会学的な部分には非常に興味を感じていました。

……どうやって環境分野の勉強をしたのですか？

建築学科の指導教官から、三重大学生物資源学部の高山進教授を紹介していただきました。「環境のことを勉強してこい」と、修業に出された格好です(笑)。高山先生は三重県環境学習情報センターが設立される時に検討会の会長をされていたので、先生に付いて、ここにお邪魔するようになりました。高山先生には、三重大学の朴恵淑教授にも紹介していただいたほか、三重県環境県民会議にも参加させてもらいました。

……小川さんのお仕事について教えてください。

今、二つの団体に所属して活動しています。一つは今年8月に発足したみえ環境県民運動協議会(以下、協議会と略)。私はこの運動の推進員として週5日、三重県環境学習情報センター内にある事務所に通っています。これは環境省の環境保全協働活動推進モデル事業を推進する団体で、市民・NPO、三重県内の行政機関、民間企業等の各主体の自主的、継続的な環境保全活動をリンクさせ、その相乗効果によって持続可能な社会づくりを目指しています。

……仕事内容は？

協議会は県内で活動している市民・NPO、行政、企業等の様々な主体の環境系の9団体が集まってできていますが、私の仕事はこれらをネットワークで繋いでいくことです。繋ぐことで、それぞれの事業も広がっていきますし、情報交換、交流にもなります。

……具体例はありますか？

## みえ環境県民運動協議会・三重県環境県民会議



**小川宏樹** さんに 聞く

今、進めているのは、環境創造活動を進める三重県民の会が毎年行っている、夏のエコポイントという企画と、協議会の参加団体を繋ぐ活動です。夏のエコポイントとは、各家庭から電気使用量のおしらせ(検針票)を送ってもらい、省エネ行動を続けることで、電気の使用量が何%削減できたかを調べ、省エネが達成できた場合、ポイントを加算し、それに合わせて活動支援金を出す事業です。この活動に協議会の参加団体が賛同してくれれば、広報をお願いするとか、企業に環境部署を作ってもらい、その従業員にも参加してもらうなど、いろんな形で繋ぐことができると思います。この他にも、レジ袋の不使用を呼びかけている三重県民レジ袋協議会と、みえ・グリーン購入倶楽部が協力して運動ができないかなど、考えています。

## テーマ単位でグループを繋げる

……もう一つのお仕事とは？

三重県環境県民会議の専門スタッフをしています。こちらの仕事は週に1回程度で、所属しているNPO団体の取材が主な仕事です。三重県環境県民会議の助成を受けたNPO団体が、実際にどのような活動をしているのかを取材し、三重県環境県民会議の発行物である「み・かん新聞」やホームページに記事を掲載しています。



み・かん新聞

……新聞の発行ペースは？

これまでは半年に1回だったのですが、「発行回数を多くしては？」と提案して、この11月から隔月発行になりました。これで取材に行ったらすぐに記事が掲載できます。取材を受けた人も発行物に掲載されることで、「三重県環境県民会議」の支援を受けて活動しているんだと実感されて、励みになると言ってくれますし、掲載記事を周囲の人に読んでもらうことで、自分たちの活動を理解してもらいやすくなったとおっしゃっていました。

……取材の難しい所は？

現在、県内に400~500ぐらい環境系の市民団体があると調査できているのですが、なかなか全部は廻りきれません。また、大抵のグループは休日に活動していますから、「イベントをするから取材に来て」と言われても、他のグループと重なったりして取材に行けないこともあります。でも、パソコンのデータベースを見ているだけでは会の名前はわかって、どんな内容の活動をしているのか、どんな悩みを持っているかはわかりません。ですから、実際に話を聞いて、同分野のグループを繋いでいくコーディネーター的な役割は必要だと思っています。

……取材や活動をするうちに気づいたことはありますか？

テーマ単位の繋がりがなく、情報交換ができていない状況です。例えば同じような活動を津でも、四日市でも行っていて、更に同じような悩みを抱えている。その悩みをどこかが解決したとしても、その方法が上手に情報として伝わっていないのです。環境系の団体は地域ごとによるまとまりはあるのですが、地域を離れて、テーマ単位の繋がりとすると、関係が薄くなってしまっています。

……どんなテーマの活動が多いのでしょうか？

ゴミ問題や、里山の保全活動が今は多いですね。

……団体が意見の食い違いで対立することもあるのでは？  
環境団体同士の対立は意外と少ないのですが、一般の方との対立はあります。例えば、衣装ケースを利用して生ゴミをたい肥化しているグループがあるとします。その活動を地域で広げようと思っても、他の方にしてみれば「町の分別で生ゴミは可燃ゴミの中にまとめてあるのに、なぜ分けなくてはいけないの？」と、なかなか理解が得られません。グループ内でも中心メンバーの内の一人が燃えていて、他のメンバーは冷めて見ているということもあります。でも、あるきっかけで「なぜ、しなくてはいけないのか」の部分を理解してもらえば、周りの人が協力してくれるようになったという話も聞きます。

## 切実な想いを感じれば、 周囲の人々も行動に移してくれる

……具体例はありますか？

先日、東員町で活動している生ごみリサイクル思考の会の会長の川島さんにお会いしました。実はこの方は平成15年8月に三重県企業庁RDF(ごみ固形燃料)焼却・発電所で起こった爆発事故で消防士だった息子さんを亡くされているんです。川島さんはこの事故をきっかけにして、「なぜ事故が起こったのか」を考え、ゴミの中でも水分が多い生ゴミがRDFの中に大量に入っていたことが原因の一つなのではと考えつかれたのです。それで、遺族として自分ができることは、ゴミの中から生ゴミを分別し、事故に繋がるような原因を一つでも減らすことだと考えて、活動されています。こういった話を聞き、切実な想いを感じれば、周囲の人々も行動に移してくれると思います。ただ、「生ゴミを分別することは大切です」と言うだけでは、人にはなかなか伝わっていきません。この方を中心に東員町では生ごみリサイクルの動きが少しずつ広がっています。他の地域でも、川島さんを招いて、話をしてもらおうかすれば想いが伝わっていくのではないかと思います。

……理念は理解できるけれど、実際に活動に繋がりにくい部分もあります。その解決法は？

システムとして作ってしまえば、意外とできる事って多いと思います。藤前干潟の埋め立て計画が問題視され、名古屋で分別収集が始まった頃、私は名古屋に住んでいたのですが、昨日までは可燃物と不燃物に分ければ良かったものが、一気に10種類近く分別することになりました。でも、システムができ、分別しないと回収してもらえない状況になると、意外に人って、きちんと分別するようになるのですよ。私は人間がずぼらだからゴミ問題が起こっているのではなく、ペットボトルなど今までは無かったゴミが入ってきて、どうすればいいのかわからないから分別ができないという部分もあると思います。そこを無理のないシステムを考えて、提案していけば、今ある問題が解決することもあると思います。

……行政が作った場合と、NPOが作った場合ではシステム受け入れられ方が違うと思いますが？

生ゴミの分別を例に取るなら、確かに行政とNPOのシステムに差があります。大事なのはどちらがより良いかを判断すること。そして、最初はNPO団体だけの小さな動きだとしても、きちんと分別するシステムを考えて、実行することだと思います。最初は数%の人の活動でもだんだんと広まって、何十%の人が実行するようになれば、

地域の全員が参加する行政のシステムとして受け入れられるのではないのでしょうか。

……小川さんが心がけていることはありますか？

たくさんの人に活動を伝えるためにチラシを作ろうと思えばパソコンも勉強しないとイケませんし、言葉で伝えるならプレゼンテーションの仕方など、環境以外のいろいろな技術や知識が必要になってきます。でも、NPOの中には高齢者の方も多いので、パソコンなどを使うことが苦手ということもあります。その部分をお手伝いできればと思っています。

## 大学で学んだことを“今”に活かす

……建築とは全く畑違いの仕事だと思うのですが？

元々は研究職志望だったので、大学に研究生として残る方法もあったのですが、それよりは自分の研究テーマに関わる場所で働いてみて、環境学習施設が実際にどんな風に使われているのか。市民活動はどんな風に行われているのかを体験する方が自分にはプラスになると思ったのです。県内の環境学習の情報なら三重県環境学習情報センターに、NPOの活動に関する情報は三重環境事業団に集まってくるから、そういう場所で仕事ができるのは実際にプラスになっていると思います。

……しかし、大学の勉強を直接活かすことはできないでしょう？

都市計画を専攻してましたから、大学時代からいろんな所のまちづくりに関するワークショップに参加していました。この時に覚えた意見調整の体験は今、とても役立っています。まちづくりのワークショップを行う場合、いろんな人の意見を聞き、「あなたの言っていることはこうですね」と調整し、会議全体を上手く進行していく役目が必要になります。司会者ではなく、ファシリテーターと言うのですが、このやり方は今の仕事にも有効ですね。

……建築を学んだからこそできる提案などはありますか？

まちづくりを考える場合、都市計画技術士や一級建築士といった専門家を交えて話をすることで、意見調整がスムーズに運ぶことができます。環境の分野でも専門家を上手に入れていけば、上手く場を繋ぐことができる場合もあると思います。

……環境分野の人は現場で頑張っている人が多いですが、小川さんの活動は現場仕事を後方で支援することのように思います。一番重要なのは、現場で汗をかくてくれる人だと思います。でも、私は体力的にそれができないので(笑)。

……環境分野の方は高齢者の方でもお元気ですよ。

ある取材先で、「里山を案内するから」と言われて、軽い気持ちで後をついていったのですが、里山という規模ではなく、山なんですよ(笑)。自分より何倍も年上の方はとっとこ歩いていくのに、私は…(苦笑)。あと、ゴミ問題など、生活に関わる分野は自分でも勉強して、ある程度の知識も持っているのですが、自然分野が…。里山保全活動をしている団体に取材に行くと「これは何の木」と言われても、全然わからないのです(笑)。

みえ環境県民運動協議会 Tel.0593-29-8866

三重県環境県民会議 Tel.059-245-7512

小川宏樹さんはこの人を紹介します。

宇留田敬子さん

やまゆり会会長として活動している宇留田さん。小川さんとは白山町の猪谷温泉で、共にまちおこし活動をしたそうです。



名張市のまちなか再生プラン策定での住民参加ワークショップの様子です。小川さんはファシリテーターとして参加しています。



お  
ね  
が  
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。